

# 図書館通信



其の式

2026年5月 富谷中学校

さわやかな季節がやって来ました…。5月は運動会や中総体など、体を動かす機会が多いと思います。そんな時、体と一緒に頭も動かしてみませんか…。頭の体操に“本”を読むのも一つの手。



今回、読書感想文の課題図書を購入しました。また、2026年の本屋大賞が決定したのでご紹介します。リクエストもできます…。



各3冊あります！

## 課題図書のご案内

### 『君の火がゆらめいている』

落合由佳著

自閉症をもつ双子の姉がいる“きょうだい児”は、大きくなるにつれ、家族を思う気持ちと自分の気持ちとの板挟みになる。



そんなある日、「きょうだい会」に出会う。きょうだい児が抱える葛藤をまっすぐに描く。

“君の火”って何？と思って読み進めると、心の中に火が灯る瞬間があるんです。読んで確かめてみて！

### 『チーム・テストならだいじょうぶ』

杉田七重訳

手作りお菓子作戦で友だちを作ることに成功した、中2の転校生テスト。菓子作りコンテストに出場するテストを応援する「チーム・テスト」が結成されるが、テストは腹部の激痛に耐えられなくなり…。クローン病の女の子が主人公の物語。



どうにもならない事があっても、問題と向き合う姿勢や視点を変わると光が見えてくるかも…。



### 『リュウグウの砂に挑む』

伊藤元雄著 さらちよみ絵

小惑星探査機「はやぶさ2」が運んできた砂つぶから、ぼくらが見つけたのは“生命のゆりかご”だった。海洋研究開発機構高知コア研究所の研究者である著者が、どのように貴重なリュウグウの砂の研究を進めたのかを紹介する。

自分の研究が星の解明に繋がるなんて、わくわくしませんか？宇宙に夢が広がります。



## 2026年・本屋大賞はこの10冊がノミネート！

本屋大賞って知ってますか？ 全国の書店員が一番売りたい本を選んだのがこの10冊です！



### ①『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ著



「神がないこの国で人を操るには、“物語”を使うのが一番いいんですよ」ファンダム経済を築く者、のめり込む者、のめり込んでいた者…。三者三様の視点から、“物語”の功罪を炙り出す。



⑧図書室にあります！→

②『熟柿』 佐藤正午著

③『PRIZE—プライズ—』 村山由佳著

④『エピクロスの処方箋』 夏川草介著

⑤『暁星』 湊かなえ著

⑥『殺し屋の営業術』 野宮有著

⑦『ありか』 瀬尾まいこ著

⑧『探偵小石は恋しない』 森バジル著

⑨『失われた貌』 櫻田智也著

⑩『さよならジャバウォック』

伊坂幸太郎著

